八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 04 2024

「なぜ少なくなった？」号

春らしく穏やかな気候に心が和む季節を迎え、八丈島でも入園・入学・進級の季節となりました。島では保育園、小学校、中学校、高校の順で日にちをずらして入園式・入学式を行います。きょうだい同士の入園式・入学式が重なってしまうと、保護者が入学式に参列できないこともあるので、島ならではの温かい決まりごとです。

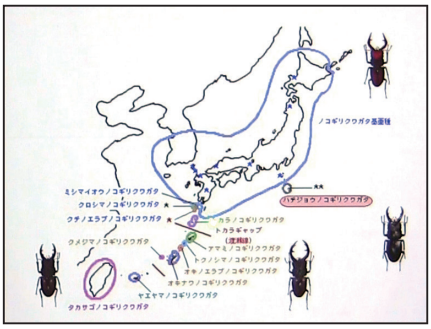
さて、今回は「講演会『世界でここだけ！八丈島の昆虫たちの魅力』」の様子と「八丈島に渡ってくるカモメの仲間」についてのお話です。(M.K.)

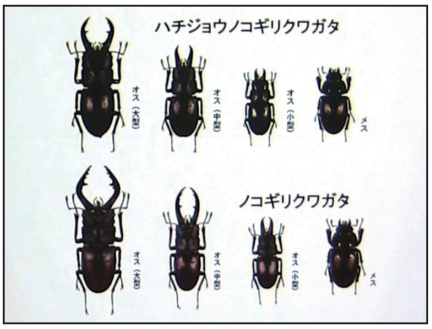
講演会は「昆虫」のお話

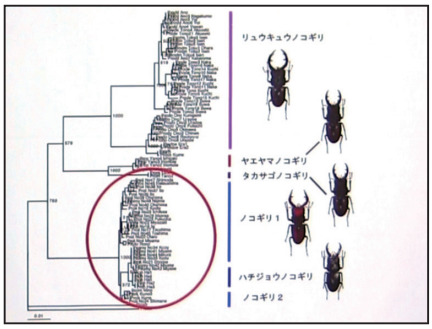
3月24日（日）、九州大学大学院比較社会文化研究院教授の荒谷邦雄氏を講師にお招きして、「世界でここだけ！八丈島の昆虫たちの魅力」を開催しました。

今回は昆虫のお話ということで、対象を小学生以上にして、いつもより時間を早めての開催としました。島内の各小中学校にポスターを掲示してもらうなど、ご協力頂きました。

講演会は「クワガタムシとは？」から始まり、「八丈島の昆虫相の特徴とその成立」の話の中では、「実は伊豆諸島はメチャメチャ面白い場所で、進化の実験場だ！その中で八丈島は特に興味深い島！」と力説されていました。







後半は、ハチジョウノコギリクワガタは種として独立し、① キバが短く（クワガタはツノではなくキバと呼ぶそうです）、② 後脚のふ節が短く（中脚も前脚も短い）、③ 翅があるのに飛ばない（筋肉が発達していない）などの特徴があること、④ これらの変化が短い期間で起こったこと、⑤ 現在はいろいろな要因で数がもの凄く減ってしまい危機的状況にあることなど、興味深い話が続きました。

「ハチジョウノコギリクワガタは近い将来見られなくなってしまう可能性が高いので、それを食い止めなければいけないことを島民の方にしっかり認識してほしい。手遅れにならないうちに八丈島の貴重な生物相や自然環境の保全に取り組もう！！」と最後に締めくくり、ビジターセンターには繁殖というミッションも与えられました。

荒谷先生の、クワガタムシへの愛と伊豆諸島への愛が感じられる講演会でした。はるばる九州からありがとうございました。次回は観察会など野外での話もお聞きしたいと思います！ (H.T.)

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

チャガシラカモメ飛来！

3月１日底土東海汽船桟橋付近で撮影
翼の先の白色部（ミラー）がよく目立つ

3月４日底土海水浴場で撮影
ユリカモメよりだいぶ大きく見えた

３月１日の昼過ぎ、底土海水浴場にビーチコーミングに出かけました。誰もいない海水浴場を歩いていると、１羽のカモメの仲間がスーッと飛んできました。

ああ、ウミネコが飛んできたのかと思いきや！あれ？ウミネコの尾羽にあるはずの黒いバンドがありません。それでウミネコではない他のカモメの仲間だとわかりました。

次に、頭が少し黒っぽくなっている事、嘴がオレンジがかっている事などから、ユリカモメではないかと思いました。しかし、飛んでいる翼の先にやけに目立つ白い部分があり、少しユリカモメとは違うことが分かり、調べてみるとチャガシラカモメであることが分かりました。ユリカモメとの識別点は大きさや翼の先のミラーと呼ばれる白色部、虹彩の色（チャガシラカモメは淡色）になります。

その日は、他のスタッフが底土東海汽船桟橋から鴨川河口付近を旋回している姿や、神湊漁港で羽根を休めている姿も確認しています。

３月４日に再度確認に行ってみると、下の画像のように、底土海水浴場の沖でプカプカと浮いていました。残念ながら、３月１１日には姿が見られませんでした。

図鑑によると、チャガシラカモメは日本では極めて稀な迷鳥で、数件の記録があるのみだそうです。もちろん八丈島でも初記録となります。

他にも何かが飛来しているかもしれないので、注意深く観察を続けたいと思います。（M.K.）

カモメの仲間 IN 八丈島

ここではこれまでに八丈島に渡ってきて記録されているカモメの仲間を抜粋でご紹介します！
八丈島ではどんな種類のカモメたちが記録されているのでしょう？　　（M.K.）

オオセグロカモメ
２０２０年１月８日撮影

ウミネコ
２０２４年３月１１日撮影

ワシカモメ
２０１４年２月１５日撮影

シロカモメ
２０２０年３月６日撮影

ユリカモメ
２０２３年１０月１３日撮影

ミツユビカモメ
２０１６年３月１８日撮影

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、６名の参加者＋スタッフ１名で開催しました。野鳥のさえずりが盛んに聞こえ、上空を飛ぶサギの仲間や猛禽類、南エントランスではジョウビタキ（♂）が行ったり来たり採餌している場面も観察しました。また、先月にはまだ固かった冬芽が緩み、花を咲かせ始めたり新葉を展開させていて駆け足で移ろう季節を感じることができました。

次回はいよいよ春爛漫の季節調査会です。新年度１回目の季節調査会、皆さんのご参加お待ちしてます！

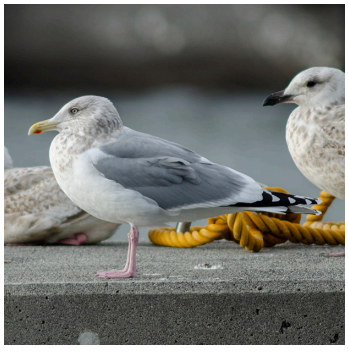
八丈植物公園季節調査（2023 年度第 12 回）3 月 10 日（日）天気：曇り、気温：12.3℃

調査者：青木、沖山（美）、沖山（三）、金田、小林、西喜、VC：木下

1	ヤブニッケイ	芽、ヒノキバヤドリギ
2	タコノキ	実、　気根の長さ：30.0 ㎝、　太さ：13.0 ㎝
3	オオタニワタリ	最少丈 117 ㎝、幅 16cm、新芽伸びる
4	ニオイウツギ	枝に芽多数
5	ニオイバンマツリ	紫色の新葉目立つ、花
6	オオシマザクラ	花・蕾・葉

7	アオキ	花	38	スズメノヤリ	花	69	モンステラ	実
8	アオノクマタケラン	実残る	39	スダジイ	新芽	70	ヤツデ	実残る
9	アカメガシワ	新葉	40	ストレチア	花	71	ヤブツバキ	花・実
10	アシタバ	新芽	41	センニンソウ	実	72	ヤマモモ	雄花が落ちる
11	アツバスミレ	花	42	タイミンタチバナ	実・蕾	73	ルリゴクラクチョウカ	花
12	アロウカリア	実生苗	43	タネツケバナ	実			
13	イヌビワ	実残る	44	タブノキ	花			
14	イワニガナ	花	45	チチコグサモドキ	花		シダ植物	
15	インドゴムノキ	実	46	ツルソバ	花	1	アマクサシダ	
16	ウスベニニガナ	花	47	ツワブキ	実残る	2	イシカグマ	
17	ウラシマソウ	花	48	トキワハゼ	花	3	オオイタチシダ	胞子嚢
18	オオアレチノギク	実	49	トベラ	新芽	4	オニヤブソテツ	新芽
19	オオシマカンスゲ	実	50	ナギノキ	実残る	5	カニクサ	
20	オオムラサキシキブ	冬芽から新葉へ	51	ニラバラン	葉	6	スギナ	ツクシ
21	オニタビラコ	花・実	52	ノミノフスマ	花	7	タチクラマゴケ	紅葉
22	オムナグサ	花殻	53	ハクモクレン	花	8	タチシノブ	
23	オランダミミナグサ	蕾	54	ハチジョウキブシ	花	9	タマシダ	
24	ガクアジサイ	実	55	ハチジョウテンナンショウ	花	10	ナチシケシダ	
25	カタバミ	実	56	ハナイバナ	花	11	ナチシダ	胞子嚢
26	キヅタ	実	57	ハナモモ	花	12	ノキシノブ	
27	キランソウ	花	58	ハルジオン	蕾	13	ハチジョウカナワラビ	
28	ケナシノジスミレ	花	59	ヒガンバナ	葉	14	ハチジョウシダ	
29	コケリンドウ	蕾	60	ヒサカキ	花・蕾	15	ハマハナヤスリ	
30	コナスビ	花	61	ヒメムカシヨモギ	花	16	ヒトツバ	胞子嚢
31	コハコベ	花	62	ヒラドツツジ	新芽	17	ヘラシダ	新芽
32	サカキカズラ	実	63	フウトウカズラ	実残る	18	ホシダ	胞子嚢

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「セグロカモメ」にスポットを当ててみたいと思います。



セグロカモメ　*Larus argentatus*

カモメ科カモメ属。日本へは冬鳥として渡ってきます。

２ページで紹介したオオセグロカモメは、以前、冬になると幼鳥が多数渡ってきましたが、最近はほとんど渡ってきません。そのオオセグロカモメに混じって、セグロカモメは極めて稀な冬鳥として渡ってくることがありました。ここ数年は、ウミネコ以外のカモメの仲間は、稀な冬鳥となってしまっています。

2024 4 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1 07:30 23:51 01:59 15:20	2 07:50 02:22 16:45	3 02:46 18:39	晴明 4 03:10 12:31 08:54 20:06	5 03:35 14:19 09:19 21:05	6 ガイドウォーク 04:00 15:26 09:49 21:52
7 ガイドウォーク 04:25 16:21 10:21 22:33	8 04:49 08:33 10:54 23:11	9 05:13 18:01 11:28 23:45	10 05:35 18:49 12:04	11 05:57 19:36 00:15 12:40	12 06:19 20:26 00:43 13:18	13 ガイドウォーク 06:41 21:24 01:07 13:59
14 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 07:01 22:51 01:28 14:46	15 07:18 01:40 15:45	16 07:12 17:08	17 03:01 18:51	18 03:07 13:28 09:15 20:05	穀雨 19 03:21 14:42 09:27 20:54	20 ガイドウォーク 03:36 15:32 09:45 21:32
21 ガイドウォーク 03:52 16:13 10:06 22:05	22 04:09 16:50 10:28 22:36	23 04:28 17:26 10:52 23:05	24 04:48 18:02 11:19 23:34	25 05:10 18:38 11:47	26 05:32 19:15 00:02 12:16	27 ガイドウォーク 八丈学講座「鳥の声を聞いてみよう」 05:54 19:56 00:29 12:49
28 ガイドウォーク 06:18 20:45 00:57 13:27	29 ガイドウォーク GW特別行事「春の八丈富士ハイキング」 06:44 21:50 01:28 14:11	30 07:14 23:23 02:09 15:07				この色の日はガイドウォークや特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 4／14 （13：30～ 約１時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八丈学講座 「鳥の声を聞いてみよう」	毎月行っている八丈学講座。島ならではの鳥たちはどんな声を聞かせてくれるでしょうか？ 4／27 （13：30～ 約１時間半） 和泉親水公園駐車場集合・解散（予定） 中学生以上 参加費：50円 定員：10名
GW 特別行事 「春の八丈富士ハイキング」	毎年恒例の八丈富士ハイキング。天気が良ければお鉢巡りもします！ 4／29 （9：30～15：30） 鉢巻き道路登山口集合・解散 小学生以上（小学生は保護者同伴） 参加費：50円 定員：15名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、（10：30～約１時間） だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2024.4.1 第275号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/

編集後記

私事ではありますが、４月より新しい事に挑戦したく３月末をもって退職する事になりました。こっこめ通信も足掛け５年間担当させていただき、その間自分の知見を広める事ができたことは感謝しかありません。長い間、愛読頂きありがとうございました。（M.K.）